

參差として、美觀を呈す、社記に云く、「社ノ傍ニ礎ノ沼アリ、神龍潛ミ住ト云傳フ」。
舊社實物には和銅年間の古文書を始め、後宇多帝當時の旭日章旗一流、組紙金泥の大同類聚一卷等あり。

境内神社

- 伊邪那岐神社 鹿島神社 月讀神社 香取神社
- 風祈神社 豐受荒神社 春日神社 水川神社
- 住吉神社 右九社合併 杵築神社 養蠶神社
- 八幡神社 瀧祭神社 犬養神社 於呂知祠
- 御門神社

例 祭 日 四月十六日

會計法適用
指定年月日

神饌幣帛料供進
氏子戸數 四十四戸
崇敬者員數

○埼玉縣武藏國兒玉郡長幡村大字帶刀

郷社

- 祭神 武夷鳥神 菅原道真 火雷神
- 菅原神社

當社明細帳に云く、

〔陰陽博士紀友成、日本回國ノ末、當村ヘ來リシトキ、村民菅原道真公ノ繪姿ヲ請ヒ、然シテ公ノ先系ヲ探リ、
武夷鳥神火雷神ヲ併セ之ヲ奉祭シ、天曆三年己酉九月、社殿ヲ創立セシト云。〕

と、あり、後治承年中、伊東祐親再建、新田北條の戰の際、兵燹の犯す所となり、一時社頭衰頹するの已むなき
に至りしが、建武二年村民再び宮殿を建立し、以て徳川の代に至る、同時代に地頭伊東某修繕の事ありたり、
當社は新編武藏風土記稿に、「村ノ鎮守ニテ、福昌寺持」と見えたり、福昌寺は僧雲外の開山にして、雲外は慶
長八年寂す、古來帶刀村の鎮守にして天滿宮と稱せしが、明治維新菅原神社と改稱し、後ち更に今の號に改
めらる、社格は明治五年村社に列せしが、三十二年郷社に昇格す、社殿は本殿、前殿、外宇、拜殿等あり、境内は
千拾九坪(官有地第一種)あり。

境内神社

- 嚴島神社 秋葉神社 稻荷神社 諏訪神社
- 八坂神社 八幡皇大神社 春日神社

例 祭 日 三月二十五日

會計法適用 明治四十一年九月三十日
指定年月日 地發第四百七十六號

神饌幣帛料供進 明治四十年四月二日
氏子戸數 百〇八戸
崇敬者員數

○埼玉縣武藏國大里郡幡羅村大字原郷

郷社

楡山神社